



重江良樹 監督作品  
『まことまたらええやん。』



# ゆめノパ のじかん

yumepa-no-jikan.com



神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。  
遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所です。育まれる、  
子どもたちのかけがえのない「じかん」を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

こ  
いばしよ  
ふつうってなに？  
子どもの居場所になるまちを  
かんが  
考える

in  
ぬまづ

## 9月2日(土) 映画上映会

日本語  
字幕付

映画の  
予告編



どんな  
話？



映画の  
舞台！

川崎市子ども夢パークの

### 西野博之さん講演会

講演会を通し親として・支援者として・教育者として・大人として、  
子どもと関わるヒントをお話いただきます。

時間▷14:45-15:30

来場者から質問回答形式

認定 NPO 法人フリースペースたまりば理事長。  
川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん他、  
各事業総合アドバイザー



会場 沼津市立図書館 4階 視聴覚ホール(沼津市三枚橋町9-1) キッズスペースあり

時間 ①上映会10:30-12:00 ②上映会+講演会13:00-15:30

料金 ①大人 500円(子ども無料(高校生まで)) ②大人700円(子ども無料(高校生まで))

対象 子ども・保護者・保育者・子育て支援者・行政職員・地域の大人の方など、内容にご興味のあるすべての方

主催：はぐぬま(はぐくむまち ぬまづ研究所) 後援：沼津市 沼津市教育委員会 沼津市社会福祉協議会

※この事業は ふじのくに未来財団「弥栄基金」の助成を受けて、はぐくむまちぬまづ研究所が開催いたします

お申込みは  
こちらから▶





# 映画「ゆめパのじかん」内容紹介



## いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人に贈る、 生きる力を育む“じかん”

「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。小さな子どもを連れて自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集まっています。ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子ども…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。

あなた  
家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集めるゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、『さとにきたらええやん』の重江良樹監督。遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけがえのない“じかん”はきっと大人たちにも大切なものを思い起こさせてくれることでしょう。子ども大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。



### 「川崎市子ども夢パーク」とは



神奈川県川崎市高津区にある子どものための遊び場。2000年に制定された「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに市民参画で作られた。工場跡地を利用した約1万㎡の広大な敷地にはプレーパークエリア、音楽スタジオや創作スペース、ゴロゴロ過ごせる部屋のほか、学校に行っていない子どもたちのための「フリースペースえん」が開設されている。乳幼児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもが利用している。  
yumepark.net

### 講師 西野博之さんの経歴



1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年、川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年7月にオープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、その代表を務め、2006年4月より川崎市子ども夢パークの所長に就任。2021年3月までの15年間所長を務めた。神奈川大学非常勤講師。精神保健福祉士。



### はぐぬまについて

(はぐむまち ぬまづ研究所)

はぐぬまは沼津市を拠点に  
家庭環境・社会環境に関わらず  
子どもたちがこれから生きていく環境を  
より豊かなものにするを目的に  
活動しています



### 上映にあたってのメッセージ

はぐぬまを運営するのは子育て真っ最中の2人の母。日々の生活やはぐぬまの活動を通して、先生、行政職員、支援者、保護者と子どもを支える立場の方々が、たくさんの努力を重ねている場面を見てきました。みんなそれぞれ頑張っている。だからこそみんなで一緒に考えたい。今回のイベント開催でぜひ伺いたいのは、今回の文を読んでいるあなたの考える《はぐぬまが生きています》(子育てしやすいまち)って、どんなものですか? ということ。環境や経緯や立場が違えば、考えも変わってきます。ぜひたくさんの方々にお話し頂き、映画を見て、西野さんとお話して、感じたこと考えたことを共有していきたいです。当日シアターであなたにお会い出来るのを楽しみにしています!

### 映画・はぐぬまについて お問い合わせ

✉ numazu.kodomomedia@gmail.com

はぐぬまの活動をぜひチェックをお願いいたします!

HP Instagram Facebook

